



南房総 CCRC 事業研究会（フェーズⅡ）募集要項

特定非営利活動法人 シビル NPO 連携プラットフォーム

南房総 CCRC 事業研究会

<研究会（フェーズⅡ）の設立趣旨>

CNCP は、かねてより地方創生事業に参画すべく検討を続けてまいりました。その成果として、平成 29 年 4 月に「南房総 CCRC 事業研究会」を設立し、1 年間の調査研究の成果をふまえてこの度フェーズⅡに移行することになり、新たに研究会への参加希望者を募集することになりました。

南房総 CCRC 事業は、首都圏において激増する高齢者をリゾート地として知られ、かつ首都圏から近く、居住コストの安い南房総地域へ誘致し、同時に首都圏唯一の過疎地域である南房総に多くの人生経験豊富な人材を集め、地域と交流することにより、地域の社会・経済の活性化を促し、地方創生にも大いに寄与することを目的としています。

フェーズⅠでは既存の CCRC 事業及び各地の CCRC 構想内容を調査研究した結果、以下のことが明らかになりました。

- ① 退職した高齢者が移住する動機は、介護不安によるものではなく、職場仲間を失うなどによる孤立感を埋める、収入の減少にともない生活コストの安い場所を求める方が多い
- ② 首都圏のホワイトカラーが退職後移住先を選ぶ場合は、いわゆる UIJ ターンの他にゴルフ、釣り、温泉などを楽しめる快適なアメニティを求めてリゾート地を選ぶケースが多い
- ③ 南房総地域には 1980 年代後半のバブル時代に計画し建設された別荘団地がリタイアメントコミュニティとして複数存在している。そこでは高齢化と定住化がさらに進行しているが、多くの住民は将来への不安を持ちつつも永住を望んでいる

以上のことから、別荘団地を高齢者が住みよい健康寿命を延ばせる「まち」として再生するプロジェクトが急務となっていること、また研究会の意見として、高齢者が住みよいだけでなく、地方創生の立場から以下に示す観点からの「再生プロジェクト」が重要と考えました。

- ④ 通勤を前提としない働き方が普及することや、更なる長寿社会を前提に高齢者も仕事を続けられるよう、IT 環境などの整備が重要、
- ⑤ 地価が安いことを背景に若い子育て世代も田舎暮らしを楽しめる二地域居住ができる「多世代交流型 CCRC が望ましい
- ⑥ 地盤がよく高台にある別荘団地は、首都圏直下型地震やスーパー台風など大規模災害の際の避難場所として適している

これらの観点からの「まちづくり」は、従来の Continuing Care Retirement Community を目指すだけでなく、従来の視点にない Countryside & City Reconstruct Community（田舎と都市を再構築した共同体）でもあります。



CCRC 構想の実現にあたっては、計画立案、資金調達、事業主体の設立、適地の選定、用地取得、施設の設計、建設、入居者の募集、施設完成、移住、運営など多くの局面があり、それぞれの段階で異業種である不動産、金融、医療・介護業者さらに地方公共団体との連携・協力が必要であり、それなくして CCRC 構想の実現はあり得ません。

フェーズⅠでは 9 名の土木・建築技術者などで実施しましたが、今後はフェーズⅡとして CCRC 事業に関心を持つ一般企業、法律、経済、不動産、医療・介護分野の人々の力を必要としております。またとくに専門分野を問いませんが、退職後の住まいに関心のある方にも、是非とも本研究会にご参加頂き CCRC 構想の実現に向かって取り組みませんか。

<活動期間>

フェーズⅠ：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

フェーズⅡ：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

<募集対象>

フェーズⅡ：CNCP 会員（法人正会員、個人正会員、法人賛助会員）及びサポーターの他、新たに外部一般企業、NPO 法人、地方公共団体を加える

<年会費>

フェーズⅡ：法人正会員 3 万円、個人正会員および CNCP サポーター 1 万円、法人賛助会員 10 万円、外部一般企業 30 万円、NPO 組織 5 万円、地方公共団体は無料

<申し込み方法>

別紙「南房総 CCRC 事業研究会（フェーズⅡ）参加申込書」にご記入の上、研究会事務局までお申込みください。応募期間は、2018 年 4 月～9 月末とさせていただきます。なお、個人の資格で参加を希望される方は、CNCP のサポーター登録を最初にしていただき、そのうえで CNCP サポーターとして参加することになります。お問い合わせは下記のメールにお願いいたします。

*研究会事務局メールアドレス：ccrc@npo-cnnp.org